

平成30年8月28日

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	消防学校	氏名	松浦香代子
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 女性福祉センター		
<p>① 研修の日時 平成30年8月11日(土)13時～8月15日(水)12時</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・家庭の中で起こる虐待については、その被害が非常に見えにくく全体像を理解するのが難しい。「虐待について」の講義では、本人が気づかないまま成人するなど様々なケースを学んだ。また、民泊での生活を通じて支援を行うことで、確実に回復して社会復帰までつなげている。</li><li>・オリエンテーションで、研修の狙いと、民泊での過ごし方等について話し合った。毎日、朝食後にそれぞれ掃除場所を割り当てられ、私は洗面台と自室の清掃を担当した。</li><li>・「子育て」の講義では、家庭の中で常に暴力的なやりとりが行われていると、子供は緊張を強いられ健全に育つことができない。その子供がそのまま成長すると、暴力が連鎖してしまうことを学んだ。行政の支援としては、その場限りになりがちであり、かつ解決したと思ってもまた繰り返すという事例に苦慮していることが多い。</li><li>・農作業体験プログラムでは、鶏のエサやりや小屋の清掃、露地栽培キクラゲの水やり、収穫、乾燥などの手順を学んだ。キクラゲはスーパーや道の駅で販売しており、収入を得ている。</li><li>・柿木村右ヶ谷キャンプ場の管理をされており、施設見学とトイレ掃除を行った。キャンプ場使用料の徴収業務も行っている。</li><li>・月2回、柿木村黒淵神楽を教わり練習している。8/11は「塩祓い」の舞を教わった。</li><li>・体験プログラムとしてリラクゼーションを行った。ハタヨガと呼吸法、マッサージ等体験し、実際に実践を行った。虐待から回復するためには、身体も心もリラックスできる場や人間関係が非常に重要であることを学んだ。</li><li>・普段は畑で収穫した野菜を中心とした食事で、その他にも知り合いの方が魚介類を差し入れしてくれるなど、多くの方と関わりながら民泊を運営していく様子を見ることができた。</li><li>・8/14は「吉賀町ふるさと夏祭り」がすぐ近くの高津川河川敷で開催された。前日に益田市市内まで買い出しに行ったが、それも楽しみのひとつだそう。皆で協力してバーベキューの準備をし、至近距離で花火を楽しむことができた。</li><li>・8/15「ふりかえり」では、理事長が昨年行った講演「笑顔で生きるために」を聴講した。誰もが目指すところは、自立し生きがいを持って働くこと。</li></ul>			

③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

- ・現在の職場で直接すぐに役立つ内容ではなかったが、今後様々な現場で活動していくうえで非常に大切なことをたくさん学ぶことができた。
- ・行政の立場では、一人一人のDV被害者に対して、回復まで寄り添うことはほぼ不可能である。しかしNPOだからこそ、生活を共にする中で安心して暮らせる場所を提供し、少しずつ回復を促すことができるのだと感じた。
- ・キラゲの販売やキャンプ場の運営委託など、収入につながる活動にも出来る範囲で取り組んでおり、NPOとして持続性のある活動ができていると思った。
- ・自分自身は大阪で生まれて核家族で育ったため、短期間とはいえ集団生活を経験できたことは非常に新鮮だった。また、高津川のすぐそばの自然が豊かな場所こそ、自分自身の心に向き合い、心身共にリラックスした時間を持つことができるのだと感じた。

④ その他特記事項(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

記録写真



(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 報告書は、平成 31 年 1 月 31 日までに人事課あてにメールで提出してください。